

嘉麻市社協だより

えがお

No. 88

発行日 / 2013.6.1

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com



尾浦第一サロンで
たくさんの笑顔

嘉麻市に大規模災害が起こったら...

平成23年3月の東日本大震災や平成24年7月の九州北部豪雨水害など、近年、大規模な災害が相次いでいます。地震はいつ起こるかわかりませんが、遠賀川流域に住む私たちにとって、水害は、決して他人事ではありません。

もし、水害が発生すると、どんなことに困るでしょうか。家に入ってきた泥水で畳が濡れたり、玄関や部屋が汚れたり、住めなくなってしまう避難所で生活することになるのかもしれませんが。そんな時に、頼りになるのが、ボランティアの方たちです。何かお手伝いできればと市外、県外から被災地に駆けつけ、復興支援の大きな力となっています。

そのボランティアの方たちと被災された方たちをつなぐ役割を担うのが、災害ボランティアセンターで、もし嘉麻市で大規模災害が起こったら、行政からの要請を受け、本会が嘉麻市災害ボランティアセンターを設置することになります。

そのため、被災された方の困りごとを少しでも早く解決できるようなセンターを目指して、水害を想定した訓練を3年前から実施しています。

今年も、大雨水害、床上床下浸水300世帯を想定し、センターの設置・運営訓練を4月20日(土)に実施しました。災害ボランティアセンターへの理解が深まればと、職員だけでなく、かまボランティア・市民活動センター運営委員、福祉推進員、嘉穂総合高校大隈城山校に協力を求め、総勢44名で、総務班、ニーズ班、ボランティア受付班、マツチング班、炊き出し班に分かれました。

家に泥水が入り、住めなくて困っている被災者から相談を受けたり、市外から駆けつけたボランティアの受付をしたりといういろいろな場面を想定し、その対応を班ごとに考えました。また、同時に避難所での食事提供を想定し、炊き出し班には、豚汁とおにぎりを用意しても



らいました。昼食後には、班ごとに訓練での気づきを発表しました。「被災者からの相談に対応できない場合に悩んだら、早く何とかしてほしい」と



という意見が出るなど、被災者の気持ちに寄り添うことの大切さを感じた訓練になりました。今後は、この訓練で気づいたことを、実際のセンター運営に役立てることができるようさらに準備を進めていきます。



シリーズ人

古賀 照雄さん

「歴史を学び続けたい」

NO.19



稲築地区にある沖出古墳の一般公開が4月13日、14日に行われました。西岩崎在住の古賀照雄さん(80歳)は、ボランティア「いしくしろ」の仲間とともに、この一

般公開の際に、来場者にその歴史を伝えるボランティアガイドをされています。

今回は、古賀さんにこの活動に参加するようになったきっかけや思いを伺いました。

市外の企業で働いていた古賀さんは、地域の人たちとのつながりがあまりなかったそうです。そのため、定年退職を機に何か新しいことにチャレンジして、たくさんの人たちと関わりを持ちたいと思い、以前から興味の一

あった書道などの趣味の活動を始めると同時に、古文書を読む会に入会しました。

同会で史料館の管理や、史跡巡りなどを通じた子ども学習支援活動にも携わる中で、自分の知らない歴史がたくさんあることに驚いたそうです。

特に沖出古墳は、どのような人物の墓なのか、なぜこの場所に造られたのかなど、まだまだ分かっていないことが多かったことから、もっとその歴史を知りたいと思うようになり、5年前に沖出古墳のガイドや勾玉づくりなどの体験活動を行っているボランティアグループ「いしくしろ」に入会しました。

同グループでは仲間と情報を交換したり、書物を読んだりして知り得たことを、一般公開の際に



来場者に説明する古賀さん

来場者にわかりやすく説明してきました。

2年前には大病を患い、以前のように様々な活動に参加することが難しくなりましたが、他の趣味の時間は削ってもこの沖出古墳には関わっていきたく、今でもグループの仲間と共に活動を続けています。古賀さんにとって、沖出古墳に関わり、学び続けて、その歴史をたくさんの人に伝えていきたいという気持ち、元気の源になっているそうです。

初盆世帯への 供物購入仕様書配布

本会は、香典返しのご寄附をいただいた世帯が初盆をされる際に、毎年心ばかりの供物をお届けしています。

この度、供物の購入業者を決めるための入札を実施するにあたり、仕様書を左記のとおり配布いたしますので、お知らせします。

記

《参加資格》

指定した供物商品を納品できる業者(市内・市外を問わず)

《配布期間》

平成25年6月17日(月)～21日(金) 受付時間は、8時30分～17時まで

《配布場所》

社会福祉法人

嘉麻市社会福祉協議会

嘉麻市岩崎1143番地3

稲築住民センター内

☎0948-4210751

《その他》

仕様書の受領に際しては、会社所在地、商号・名称、代表者名を受領書に記入いただくこととなります。代理の方が受領される場合は、代理の方の印鑑も必要です。

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください！



☆最近えがおになった出来事について、8名の方にインタビューしました☆



吉田隼人さん 安増裕希さん

この間、バスケットボールの地区予選大会で県大会出場が決まり、次の日に一日休みをもらいました。久々の休みだったので、すごく嬉しかったです!!
県大会でBEST4になるぞ!



徳丸真由美さん 天基くん

ゴールデンウィークに初めて動物園に行ってきました。天基は、大好きな動物をじーっと見つめて、とても楽しそうでした。ハイハイで今日も元気に前進! いっぱい食べて大きくなあれ♡



林歩積くん

最近、1歳の妹に「おいで!」と両手を広げると、妹も両手を広げて抱きついてきます。その姿がとっても可愛いです♡
やっと1人で抱っこできる、お兄ちゃんになったよ★



梅野巖夫さん

5月11日、12日開催の、第2回「青空フェスタ」。昨年より8団体増え、24団体が参加することになり、とても嬉しく思います。障がいのあるなしに拘らず、交流を通して、まちづくりに少しでもお役にたてればと思います。



長松ミヤコさん

毎日、たくさん笑うことを心がけています。いつも友達と集まったときは、みんなでお茶をしながら笑顔になっています。笑顔は元気の源ですね。今日もたくさん笑って、楽しい一日を過ごします。



中野浩司さん 陽眞くん

最近、言葉がよく出るようになり、可愛さが増してきました。「パパー」と言ってかけ寄る姿を見ると、「仕事頑張るぞ!」と意欲がわきます。
いつも可愛い笑顔をありがとう!!



灰本修惟ちゃん

親戚のお兄ちゃんが、買い物に連れて行ってくれました。すごく可愛い洋服を買ってくれて、とても嬉しかったです。大好きなお兄ちゃんと、今度はサファリパークに行きたいな♡

「お問いわせ先」

嘉麻市社会福祉協議会
00948-42-0751
Mail: tiki@kamasakyo.jp

子育て情報が満載♪
「なんでも目線がまっぴ」
No.14「夏祭り」
ぜひ読んでみてください。

6月1日、第14号となる子育て情報紙「こども目線がまっぴ」を発行しました。夏場といつとで、うつとおいしい梅雨時や体力を奪う猛暑時期を、子どもと楽しく安心して過ごせる、いろんなアイデア等を掲載しています。

また、お父さんの目線で子育てのポイント等を紹介しているコーナーもありますので、ご覧いただければ幸いです。

この情報紙は、市内の子育て支援センターや図書館、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス等に置いてあるほか、社協のホームページからもダウンロードできます。

こんな記事があったらいいな等、この情報紙についてのご意見やご感想も随時募集していますので、よろしくお願ひいたします。



今月のご案内

○6月19日(水)○
10時～12時
♪スクラップ
♪ブックング♪



のり、はさみ、お気に入りの写真5～6枚をお持ちください。

○7月17日(水)○
10時30分～12時
♪食事について学ぼう♪

※場所はいずれも、
碓井千歳会館です。

○6月13日(木)○
場所：山田ふれあい
ハウス



○7月11日(木)○
場所：寄ってこハウス
時間はいずれも
13時～15時です。

○6月27日(木)○
場所：寄ってこハウス



○7月25日(木)○
場所：寄ってこハウス
時間はいずれも
13時～15時です。

平成25年度 社協会員募集

本会の各事業は、市民のみなさまをはじめ、福祉団体、地域の企業などから寄せていただいた会員会費などを財源として実施しています。

本年度も、より充実した活動を展開してまいりますので、本会の活動にご理解いただき、会員への加入にご協力くださいますようお願いいたします。

会員の種類	個人会員	1口1,000円
	法人・団体	1口1,000円



入会方法

1. 社協窓口にお越しいただける方・・・窓口で入会申込書をご記入いただき、今年度分の会費をお支払いいただきます。
2. 集金をご希望される方・・・社協までご連絡ください。地区によって集金方法が異なりますので、ご案内いたします。
3. 市外の方・・・氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便小為替で本会まで郵送ください。(その他の送金方法をご希望の方は、下記までご連絡ください。)

平成24年度にご協力いただいた会員会費は、1,713,000円でした。みなさまの善意、本当にありがとうございます。

夏の支援物資を 募集します

嘉麻市社会福祉協議会では、夏場に必要となる支援物資を募集し、NPO法人北九州ホームレス支援機構を通じてホームレスに届けます。

衛生面や害虫への対策が必要となる夏場は、特に下記の物資が必要とされています。

市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

○募集物資 薄手の長袖シャツ(ワイシャツ可)・Tシャツ・肌着(半そで)・靴下・T字かみそり

※T字かみそりについては、未使用のものに限ります。また、シャツや肌着、靴下については、必ず洗濯をしてお寄せください。

○募集期間 平成25年6月3日(月)～7月19日(金)
※土日を除く、午前8時30分～午後5時まで

○物資の受け入れ先 嘉麻市社会福祉協議会(稲築住民センター内)
嘉麻市岩崎1143番地3(嘉麻市稲築庁舎隣)



問い合わせ 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

「読めば答えが見えるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

???? 問題????

3年前から実施している、嘉麻市災害ボランティアセンター運営訓練は、どんな災害を想定して実施しているのでしょうか。

(1) 震災 (2) 水害 (3) 火災

●応募方法

- ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、6月30日(必着)までにハガキ、またはメールにてご応募下さい。

●送付先

〒820-0205
嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え (1)

樋渡行政区地域福祉部が春休みに取り組んだ小学生の子どもたちを対象とした活動は、学習会でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・子どもの頃、地域で学習をして過ごした思い出があります。地域で広がるといいですね!

・「炭鉱の記憶」で、今現在も残ったボタ山を誇りに思います。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



ボランティア活動への一歩に

稲築志耕館高校では、1年生の授業の一環で、ボランティア活動を体験することになっています。その活動を本会がお手伝いすることになり、5月9日の事前学習の授業にお邪魔しました。

まず5時間目の授業で、木山事務局長が、「ボランティア活動の意義」をテーマに、ボランティア活動の原則や様々な分野でのボランティア活動について話をしました。ボランティア活動はやることが目的ではなく、思いやりの気持ちを伝える手段であることやその気持ちが広まり、ボランティア活動という言葉がなくなることが理想であることを伝えました。



6時間目の授業は、教室に戻り、その思いやりをどう表現したらそれがボランティア活動につながるのかについて、グループに分かれて考えました。ボランティアという言葉は知っていても、いざ考えてみると難しいようで、



なかなかまとまらずに悩んでいる様子でした。でも、わからないことを質問したり、資料を読み直したりしながら、熱心にボランティア活動について考えていました。

これから、それぞれのグループが考えた思いやりの気持ちを何らかの形に表せるように調整を進めていきますので、その実践の様子については、またこの紙面でお伝えできたらと思います。

＊ ボランティア 募集情報 ＊

夏休み期間中のボランティア

本会が実施する障がい児日中一時支援事業で、子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

日 時 7月20日(土)～8月31日(土)(ただし日曜日は除く)
※9:00～17:00の間で活動可能な時間帯で構いません。

場 所 嘉麻北日中一時支援事業所
(鴨生339 嘉穂特別支援学校横)
嘉麻南日中一時支援事業所
(上山田502-6 山田ふれあいハウス内)

内 容 障がいのある子どもたちの遊び相手、宿題の補助など

募集人数 定員なし

備 考 動きやすい服装や時間帯によってはお弁当、飲み物をご準備ください。

＊交流会を実施します＊

7月27日(土)
17:00～19:00

嘉麻南事業所で夏休み交流会を行います。レクリエーション等のお手伝いをしたいだければ幸いです。

公園の花壇づくりのサポート

～元気に花咲かせ隊～

ボランティアグループ「元気に花咲かせ隊」では、稲築公園の花壇を維持管理する活動にご参加いただける方を募集しています。

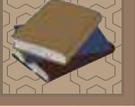
日 時 6月23日(日)
7月28日(日)
午前9時～10時

場 所 稲築公園(拡張部)
(岩崎1096)

募集人数 各5名程度

内 容 花の水やりや草取り、花の苗植え等

＊お問い合わせ・お申し込み先＊
かまボランティア・市民活動センター
☎0948-42-0751



居場所のちから

生きているだけですごいんだ

NPO法人フリースペースたまりば

西野 博之

教育史料出版会



【著者】1986年から不登校児童・生徒、高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年、川崎市にフリースペースたまりばを開設し、不登校やひきこもりの若者とさまざまな障がいがある人たちとともに地域で育ちあう場づくりを続け、2003年7月には、川崎市の委託を受けて、公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設し、その代表を務める。

【内容】

ひきこもり支援者講演会で著者の話を聞き、持っていた価値観を覆されるほどの衝撃を受けました。そこで、著者の書いた本を是非読んでみたいと思って探した一冊です。

アパートの一室からスタートした「たまりば」という居場所で、生きづらさを抱えた若者と過ごした15年間で記されています。自由に過ごす居場所づくりにこだわり続けた著者からは、「失敗の中にいろいろな気づきがある。いっぱい失敗して生きていけばいい。生きていることがすごいんだ」という強いメッセージが発信されています。

また、自己肯定感が低い子どもが増えていることを指摘し、その背景には、自分の尺度でしかものを見たり考えたりできない教育関係者や、ひとの痛みを感じとり受け止めることができない大人たちがいると云います。「世間体とか常識にしばられないか」との問いかけは、私の心に重く響きました。いのちの大切さや居場所づくりの必要性を改めて考えさせられた一冊でした。(木原)

炭鉦の記憶



6月1日、今から48年前のこの日は、忘れられない山野炭鉦ガス爆発事故の日です。

事故のことをお話しくださる方を探していたところ、佐藤信夫さん(鴨生)が事故発生時の様子を教えてくださいました。

当時佐藤さんは、高校2年生で、学校から中間試験を終えて帰ってきた時でした。13時頃、外に黒煙がどんどん立ち上り、何があったんだろうと嫌な予感がしたそうです。しばらくすると、下駄を履いて手にかっぽうぎを持った女性が山野炭鉦の会社に向かって何十人も走っていきました。ただ事ではないと感じた佐藤さんもそれについていきました。敷地内では、多くの人が右往左往している状態で、「事故が発生した」という声が聞こえてきました。30分ぐらいたつと、「爆発事故らしい」という声に変わりました。後から、何台ものヘリコプターの音で、異変に気づいてかけつけた人も多かったです。

間もなく堅坑(やまぐち)付近には大勢の人が集まりだし、全員が、自分の家族や友人は無事なのかと、祈る気持ちで昇抗を待ちました。かなりの時間が経ち、やっと係の職員がタンカをかかえて坑口から出てきますが、遺体には毛布がかけられていて、自分の家族が確かめることもできず、ど

うにか知りたいたいと必死でした。赤ちゃんを背負って家から出てきた女性もいて、悲鳴やわめき声も響いていました。左の写真はその時の様子で、大勢の人が坑口付近にずらっと並んでいます。

佐藤さんは、事故の日のことが脳裏に焼き付いていて、ふと思い出すことがあると言います。時間の経過とともに、当時従事されていた方や遺族の方も高齢化してきています。けれども事故のことに限らず、重労働であった炭鉦のこと、苦しい仕事に従事された人々のこと、その炭鉦があつて今の嘉麻市があることを、いつまでも忘れられることがないよう佐藤さんは願っています。



▲坑口から運ばれてくる遺体のまわりには、大勢の人が並びました。

炭鉦時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(Tel 0948-42-0751)

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり苦情解決第三者委員会、監査、理事会を開催しました。

第5回 苦情解決第三者委員会	開催日	平成25年4月26日(金)
	内容	苦情解決第三者委員の役割について 平成24年度 苦情受付実績報告 意見交換
監査	開催日	平成25年5月16日(木)
第42回 理事会	開催日	平成25年5月20日(月)
	内容	【議案第116号】平成24年度事業報告及び収支決算について 監査報告 【議案第117号】平成25年度第一次補正予算について 【議案第118号】評議員の補欠選任について 【議案第119号】定款の一部変更について 【議案第120号】運営規程の改正について 【議案第121号】車両購入契約の締結について 報告第33号 指導監査の改善について

山田ふれあいハウスのご紹介



色鮮やかな作品を展示しています ~ホール内水彩画展示のお知らせ~

現在、山田ふれあいハウスのホールには、水彩画愛好会の方々の作品6点が展示されています。風景画や色鮮やかな野菜など様々なものが描かれていますので、ぜひご来場下さい。

○**展示期間** 平成25年8月30日まで(また、9月1日、平成26年1月6日に展示作品の入れ替えを予定しています。)

○**問い合わせ先** 山田ふれあいハウス
(嘉麻市上山田502番地6 TEL0948-52-1847)



指定葬祭場紹介

かほ葬祭 あじさい会館

嘉麻市西郷 150-1
☎(0948) 62-5566

葬儀に参列することはあっても、執り行う側の経験は決して多くはないと思われます。悲しみの中、日常生活とかけ離れた「葬儀」に誰もが不安を感じるのではないのでしょうか。

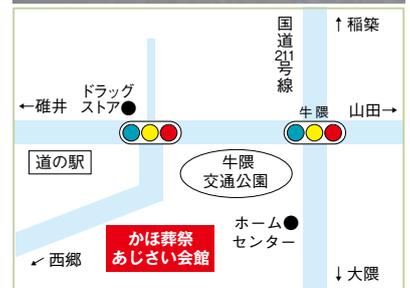
大切な方の葬儀を任せて良かったと思っていたけれど、ご遺族の立場に立った対応を心掛けております。(支配人 山下 信治さん)



ご家族様との出会いは「ご縁」だと考えております。ご縁を大切にしながら、ご親族を亡くしたばかりのご遺族の気持ちを思いやり、心に残るお別れのお手伝いをさせていただきます。お待ちしております。(篠原 功まん)



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭あじさい会館を含め、市内に8カ所あります。

善光会館 稲築会場	☎ 83-5000	おかむら葬祭 岡村会館	☎ 42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎ 42-4241	きど葬祭やまさ碓井斎場	☎ 62-4499
ひさつね会館	☎ 52-0758	いすや会館	☎ 57-4444
セレモニーホールおおつか	☎ 52-1212		

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

4月1日～4月30日受付分

●香典返し

【西岩崎】

親族 加来 久子様
故 加来 トモエ様

【口春】

親族 土屋 美佐子様
故 土屋 稀人様

【山野第二】

親族 池田 紀雄様
故 池田 茂様

【平第二】

親族 大山 忠男様
故 大山 由紀子様

【銭代坊】

親族 田村 信子様
故 田村 文子様

親族 川上 洋子様
故 川上 義晴様

【鴨生北町】

親族 甲斐 正彦様
故 甲斐 善子様

【笹原】

親族 澤田 照久様
故 澤田 照子様

【天神】

親族 尾畑 キミ子様
故 尾畑 和生様

【大橋】

親族 大田 浩一郎様
故 大田 美智子様

【天隈】

親族 中島 剛一様
故 井上 シゲコ様

親族 武田 敦弘様
故 武田 光弘様

【上西郷】

親族 大谷 知登士様
故 大谷 ミトシ様

【下牛隈】

親族 柿坂 誠様
故 柿坂 久代様

【椎木】

親族 永富 千里様
故 瀧下 エイ子様

【上】

親族 井寿恵子様
故 井政利様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同
山下老人会 様

【子育てリユース】

口春 安部 栄子様
山野第二 井上 美穂様

鴨生北町 服部 陽子様
ゆうひが丘 馬場万里亜様

石ヶ崎 渡邊 綾様
下牛隈 吉岡 知子様

宮吉 川上 秀子様
飯塚市 上中 奈実様

飯塚市 盛 啓子様
飯塚市 飯塚市 盛 啓子様

桂川町 盛 啓子様
田川市 小松 直子様

飯塚市 飯塚市 盛 啓子様
飯塚市 飯塚市 盛 啓子様

【アルミ缶】

東岩崎 松岡 光様
西岩崎 匿名 様
平第二 匿名 様

鴨生町 福澤 和代様
銭代坊 匿名 様

熊本 中島 政美様
下白井東 匿名 様

神幸 樋口 朋華様
下宮 三好 邦央様

木城 野田 和子様
中央 明石 睦則様

ゆうひが丘 梶原久美子様
石ヶ崎 渡邊美千代様

漆生中央 佐伯 澄子様
山野第二 古賀 絹江様

樋渡 藤春喜代士様
鴨生町 福澤 和代様

下白井東 匿名 様
熊ヶ畑第三 福岡 重人様

下宮 三好 邦央様
木城 栗原 伊織様

木城 栗原 伊吹様
木城 樋口えり子様

石ヶ崎 桃崎 晃大様
石ヶ崎 桃崎 奏大様

東馬見えがお組 渡邊 翔輝様
夢サイトかほ 匿名 様

漆生中央 松田 茂様
山野第二 古賀 絹江様

辻中籠 永水 清子様
山下老人会 匿名 様

NTT退職の会筑豊協議会
教育ナビゲーション(株) 様

【使用済テレカ】

漆生中央 松田 茂様
山下老人会 匿名 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています



会員として、次の方々にご加入
いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

4月1日～4月30日受付分

〈漆生中央〉松田茂(二二〇)

〈樋渡〉大谷直美

〈平第二〉花田匡哉(十口)

〈枝坂〉古賀義之(五口)

〈中益〉三浦寿美代

〈下牛隈〉匿名

〈東馬見〉山口節子

〈上〉平田幸子

義援金をお寄せいた
だき、ありがとうございます
ございます

東日本大震災の復興のため
に、義援金をお寄せいただき
ています。

誠にありがとうございます。

4月11日～5月10日受付分

嘉麻市美術協会交流展実行委員会様



7月の総合相談

法律相談は予約が必要
です。先着順となってい
ますので、お早めにお申
し込みください。

嘉麻市社会福祉協議会
☎ 0948-42-0751

法律相談

☎と き：7月4日(木)
13:00～16:00
☎と ころ：山田ふれあいハウス
☎と き：7月18日(木)
13:00～16:00
☎と ころ：稲築住民センター

心配ごと相談

☎と き：7月10日(水)
13:00～15:00
☎と ころ：稲築住民センター
☎と き：7月24日(水)
13:00～15:00
☎と ころ：稲築住民センター

活気ある町へ 思いを馳せる

稲築高校卒業と同時に進学で故郷を離れそして就職、早や半世紀が経ちました。

その間に町のシンボルだった三井鉱山山野鉱業所が閉山、町はずっかり寂れましたね。帰省の度に感じる事です。

嘉麻市となつても私の実家の周辺は特に変化も感じられず、また稲築以外の市町のこととは殆ど知らないで、市町合併への関心も低かったのですが、知人を通じて旧嘉穂町の二つのことを知る機会を得て、最近はこの地域のことも含め故郷と意識するようになりました。

一つは、「寒北斗酒造」です。この地元でも評判の日本酒は、近年は関東在住の稲高卒業生も知るところとなり、東京の同窓会場でも供されて好評なのです。

二つ目は「フルーツ共和国リンゴ村」です。九州で美味なりんごが採れるというのには私には新鮮な驚きでした。生産者の方々はここになるまで「苦労も多かったと思いますが、特色のある農業として注目に値する取り組みですね。」

いずれの事業も更に知名度が上がって、益々商売繁盛されま

すよう願っています。

元気印の企業や特色ある取り組みが何かあったかなと考えますと、炭鉱閉山以来このかた聞かえてこないように思います。

昨年、メガソーラー基地が出来たようですね。結構なことですが、売電だけでは地元への還元は限られますので、太陽光発電や風力発電基地は大いに推進する一方で、売電だけでなく結果としてその電力を地元で利用するような取り組みを期待しています。

例えば大工場方式のブランド農業や企業の誘致等により地元の雇用機会を増やし、ひいては定住人口増にも繋がるような取り組みで、町に活気を取り戻して欲しいものです。

そして、あの三井鉱山堅坑跡の全く別の事業への再利用で地域への一大貢献が出来ないかと、夢見ています。

いずれにせよ、過去に囚われない種々の斬新な取り組みによって、これまでとは違う活気ある故郷となることを願っています。



神奈川県横浜市在住
今井 邦彦 さん
(71才)
岩崎出身

★ 編集後記 ★



稲築志耕館高校のボランティアを考える授業にお邪魔して、生徒のみなさんからボランティアに関する質問をたくさん受けました。一生懸命考えている姿は、キラキラと輝いて見え、若いっていいなあ、戻りたい、としみじみ感じました。(きはら)



炭鉱の記憶では、山野炭鉱ガス爆発事故についてのお話を聞かせていただき、坑内の惨状、かけつけた人々の混乱の様子が頭に浮かびました。改めて、忘れてはいけない日であると感じました。(みぞくち)



今回、シリーズ「人」で古賀照雄さん取材しました。沖出古墳の歴史を語られるときの表情はとても生き生きとしていました。古賀さんの座右の銘は、「故きを温ね新しきを知る」だそうです。私も一つひとつ嘉麻市の歴史を勉強していきたいと思いました。(たけがわ)



広報紙を配布していると、「毎月、広報紙が届くのを楽しみに待っているんですよ～」と笑顔で声をかけてくれた方がいました。その言葉とその笑顔がすごく嬉しくて、心もほっこりしました。(なかしま)



今号から広報紙担当に加わるようになりました。「今月のえがお」の取材では、春らしい温かな笑顔に出会うことができました。新しい出会いを嬉しく思うとともに、ご協力いただいたみなさんに深く感謝いたします。これから、読みやすく魅力ある広報紙づくりを目標に、努めていきたいと思ひます。(かわかみ)

編集後記を書いている本会職員の似顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。

コラム 交差点

私のおもいつき一言
テーマは命のありがたさ

二十三年六月二十七日に私は交通事故にあり、飯塚病院に救急車にて、その時心臓が悪くいつ死んでもおかしくないと言われ七月十九日に大手術八時、二十三時約十一時間弁が三個人工弁です。今は大分元気に命のありがたさが身にしみました。その時、自分がおもいつき一言書き始めました。
一、命を神様より頂き、一日でも長生きせねば

- 一、生きる事、苦しい時あるが喜びある
- 一、今日あつて明日がある
- 一、病氣して元気の時のありがたさがよくわかる
- 一、自分の身体は自分で守る
- 一、一日を大切に日々精進
- 一、人の出逢いにある
- 一、自分の事は忘れて人の喜び思う
- 一、苦しい時は笑顔で過ごしたい
- 一、自分の心と付き合つて行く事生きる道
- 一、社会・人の役立つことしたい
- 一、人はみな生きるたいして考えていい

- 一、話が出来る、目で見る事、耳で聞く事、歩ける事にありがとう
- 一、夢を持つ事
- 一、孫が私の活力源・活力剤である
- 一、命あるかぎり生きていこう
- 私あと一年で八〇歳です。なに事にて前向き前向き感謝感謝です。主人はじめ息子、嫁孫にありがとうありがとう。友達が朝夕の食事を作つてくれた本心に心から涙が出るほど嬉しかった。恩を忘れずにがんばる。

(尾浦第一 松岡 恵美子)